

平成19年度 第1回豊田市スポーツ振興審議会 会議録

日 時： 平成19年7月13日(金) 午後1時30分～3時40分

場 所： 豊田市役所教育委員会議室

出席者： <委 員> 湯浅 景元 (中京大学体育学部)教授
伊藤 直史 (豊田加茂医師会理事)
小幡 銀伸 (豊田市体育協会会長)
鈴村 幸雄 (豊田市体育指導委員連絡協議会会長)
吉澤 通記 (豊田加茂教育事務所教育主事)
狩野 正人 (事業所代表)
岩月 富士雄 (豊田市身障協会体育部長)
手嶋 道雄 (豊田市スポーツ少年団本部長)
平林 栄子 (スポーツ指導員代表)
北村 幸子 (女性スポーツ団体協議会会長)
大内 光子 (学識経験者)
中野 幸彦 (学識経験者)
中川 淳 (市民公募)

<事務局> 笠井 保弘 (豊田市教育委員会)
梅村 孝志 (豊田市教育委員会)
山崎 隆弘 (豊田市教育委員会)
近藤 保之 (豊田市教育委員会)
加藤 東 (豊田市教育委員会)
柴田 康宏 (豊田市教育委員会)
大嶋 守 (豊田市教育委員会)
坂井 京子 (豊田市教育委員会)

- 次 第 1 委嘱状交付
2 教育委員会挨拶
3 委員・職員自己紹介
4 会長・副会長選出
5 会長あいさつ
6 議題
「豊田市生涯スポーツプランの今後の推進方法について」
7 報告事項
(1) 平成19年度主要事業の概要について
(2) 平成19年度スポーツ行事予定

議事等の摘要

- 1 委嘱状交付
- 2 教育次長あいさつ

今日は、豊田市のスポーツ行政にとってうれしいことが2つあった、ひとつは、豊田市代表として都市対抗野球への出場が決まったトヨタ自動車が市長表敬訪問をしてくれたこと、もうひとつは、明日から始まるフェドカップの抽選会で、秋篠宮殿下が来豊されたこと。豊田市のスポーツにとって明るい話題が満載である。スポーツ行政は、生涯スポーツプランに基づいて事業を展開している。キーワードは、「する、みる、支える」の3本柱。それぞれ、躍動、感動、情熱という言葉で置き換えもしている。このプランも策定以来6年が経過した。課題や問題が多いが今、次期プランの準備の段階である。スポーツ審議会の委員としてスポーツ行政を担当する教育委員会へ屈託の無い意見をお寄せいただきたい。

3 委員・職員自己紹介〔各自〕

4 会長・副会長選出

〔平林委員からの推薦で、会長に小幡氏、副会長に鈴木氏を推挙。全員一致で同案に決定。〕

5 小幡会長あいさつ

今後また2年間お世話になる。責任を果たしたいと思う。豊田市には今春、立派なスカイホール豊田が完成した。森元首相も駆けつけてくれたボールゲームフェスタ、数多くの名球会選手が集まって子どもたちに野球の指導をしてくれたドリームベースボール、8月の国際サッカーユース大会、12月のサッカートヨタカップなど、大きな大会があると「豊田市」がその開催地になれる状況になってきたことが喜ばしい。

体育施設も、現行の計画では、公認プールを除けば、ほぼ整備のめどが立ったと聞いている。経済面だけでなく、スポーツ面でも恵まれた豊田市の更なる進歩のため、皆さんの協力をお願いしたい。

6 議長選出

〔豊田市スポーツ施設振興審議会条例により、会長を議長に選出〕

7 議題

『豊田市生涯スポーツプランの今後の推進方法について』

事務局：H19年度審議会スケジュール(案) 【審議会への依頼事項】に基づき「豊田市生涯スポーツプランの今後の推進方針について(現行プランの改訂)」を提案(資料2ページ)

議長：ただ今の提案について異議はないか

全員：異議なし

事務局：本日の議題となる5つの進捗状況を資料に基づき説明(資料3～8ページ)

議長：「する」、「みる」については過去にもあった言葉だが、「支える」という言葉を使ったのは、おそらく豊田市が初だと思う。今後の進め方は、小委員会を作って詳細を検討ということまで行くということでもいいと思うが、皆さんのご意見をお願いしたい。

湯浅委員：「支える」という言葉は確かに大切である。現行プランのうちで、未実施の項目については今後実施するという解釈でいいか。

事務局：実施するのか、軌道修正をするのかについても、審議会で検討していただきたい。

北村委員：安全管理の面で、お礼が言いたい。手売りとはいえ、体育館で飲料水の販売を再開してくれたことに本当に感謝する。

大内委員：T O S S (豊田市スポーツ施設利用システム)が合併旧町村部にも導入されるようだが時期はいつか。

事務局：今年度に準備をして、来年4月から利用していただける計画である。

中川委員：スポーツリーダーバンクの派遣実績はどうなっているか。

事務局：派遣は6人以上の団体からの要請で行っている。18年度は、61団体から350回の要請があった。

中川委員：指導員の育成のための指導も大切である。特にスポーツクラブには必須のことであると思う。

議長：こういった課題は、生涯スポーツプランの改訂を待つのではなく、随時スポーツ課で検討してほしい。

事務局：この件については、今年度のスポーツ課の重点目標になっている。

議長：問題点を市民にもよく聞くようにしてほしい。3回審議会で会議をして終わりではない。ただし、市におんぶに抱っこではいけない。市民がすべきところはちゃんとしてもらおう。

岩月委員：資料1-1の支えるスポーツの欄で、ボランティアがすべて体育協会となっている。他にもボランティア団体があるはずだが。

事務局：主な実施状況ということで体育協会の加盟団体が豊田マラソン等の事業に関し、ボランティア活動をしてきているということに記載させていただいた。他にも福祉関係のボランティアに協力いただいている。

岩月委員：障害者スポーツのボランティアをお願いしたいのだが。

事務局：体育協会の加盟団体、体育指導員等に働きかける方法もある。

議長：体育協会だけでなく、いろいろなスポーツ関連イベントのボランティアをスポーツ課で募集し、世話をすべきと思う。

平林委員：3年前から中京大学に指導をお願いするため、スポーツ会議という組織を作った。回り番で会議をしている。この組織が窓口になって指導者の依頼をしていきたい。同時に、指導にあたる学生に単位が与えられるような制度作りも必要と思う。

伊藤委員：今日初めての参加なので、仕組みがよくわかっていない。これから勉強したい。

吉澤委員：今まで学校にいたので、スポーツ関連でこんなにたくさんの仕事があることを知らなかった。体育指導委員の情熱がすごいと思う。

大内委員：豊田には、全国でもトップクラスのアスリートがたくさんいると聞く。スポーツリーダーバンクに登録している指導者は何人くらいいるのか。

事務局：100人以上いると把握している。指導者については、スポーツクラブの指導者への指導も含めて、メンバー等の再構築を考えていきたい。

北村委員：日体協の指導員が市内にもたくさんいるはず。こういう人たちもスポーツリーダーバンクに登録してもらおうとよい。

平林委員：指導者は、子ども、若者、女性、高齢者など、受講対象者ごとジャンル分けをして

おく必要がある。高齢者団体に若者向けが得意な講師を派遣してしまい、体力的についていけないと苦情がでたことがある。

湯浅委員：体育指導については、今後資格が必要になる可能性がある。

事務局：施設について、資料1 - 2を使って説明

平林委員：市長が議会で整備を約束した体操体育館はどうなったか。

教育次長：現行のスポーツプランには載っていないが、次期プランには掲載していきたい。なお、プランとは別に今年度から検討を始めていく。

岩月委員：井上プールのオープニングイベントはどのようなことを考えているか。

事務局：8月25、26日に施設の一般無料開放をする。この件については、広報とよた8月1日号に掲載する。

事務局：地区スポーツクラブの現況については、本日は説明を割愛させていただく。次回の議題がここになるので、各自資料にお目通しをお願いしたい。

議長：資料1 - 3の左下に掲載してある課題・問題点について、次回各委員の活発な意見を期待する。

北村委員：地区スポーツクラブ全体の会議は行っているのか。

事務局：年3回、設立されたスポーツクラブの会長と事務担当者を招いて会議を行っている。

事務局：改訂版豊田市教育行政計画について、資料1 - 4に基づき説明。

資料2以降の報告事項については、各自読んでもらうことを依頼。

次回は12月に開催することを連絡

議長：次回からは委員全員の活発な発言をお願いします。なお、会議は2時間以内とするよう努力したい。

8 報告事項

(1)平成19年度主要事業の概要について

(2)平成19年度スポーツ行事予定